

# 安全管理対策

## 7つの安全管理対策

自然の中で生活するものにとって大原則である「自分の身は自分で守る」ということを踏まえつつ、9つの運動を柱として各安全対策を行っております。

## 緊急連絡

種類	機関名	所在地	TEL(0776)
医療機関	福井県済世会病院	福井市和田中町舟橋7-1	23-1111
	福井警察署	福井市御幸4-9-1	21-0110
公共機関	味見駐在所	福井市西河原町14-1	90-3110
	東消防署	福井市和田東2-2205	27-0119
	消防局美山分署	福井市美山町6-6	90-3119
	福井健康福祉センター	福井市西木田2-8-8	36-1116

## 保険契約(例)

項目	傷害保険	賠償責任保険
最高限度保険金額	2,000万円	
入院保険金額	3,000円/1日	
通院保険金額	1,500円/1日	
身体賠償		1億円/1事故
財物賠償		500万円/1事故

\*身体賠償・財物賠償は免責あり



### ① セーフテイクの徹底

活動の前には必ず危険予測を行います。「あれはダメ」「これはダメ」というのではなく『何が危険か?』ということ子どもたちから引き出し、そしてそれをフィードバックしています。

### ② フィールドの把握

山、川、利用施設。どの活動場所もすべてスタッフが事前、そして実施前にもフィールドチェックを行い、危険箇所の確認、子どもの目線での確認を行い、より深く現場を把握しています。

### ③ WSO(世界安全機構)公認、MFA国際救命救急救護法の取得

指導者にWSO(世界安全機構)公認の国際修了カードを取得する機会を設けています。また、幅広い年代層の参加者に対応できるよう、成人用コース(被救命者8才以上)はもとより、小児コース(被救命者8歳未満の乳幼児・小児)の講習も実施いたしております。

### ④ 研修会における安全講習の実施

指導者の安全意識の向上はもちろん、地域の方・その他外部指導者に対しても、安全意識を高めていただけるよう、研修会や指導者養成講座で安全講習の場を随時設けております。

### ⑤ 休息・睡眠時間の確保

休息时间・睡眠時間を十分に確保した活動を行います。また、疲労の軽減や集中力の維持、教育効果の向上のために、特殊な活動を除き、1日3プログラム以内、1プログラム3時間以内で活動を構成します。

### ⑥ 専門家との連携

川の活動ではカヌー協会やライフセーバー、専門家の方々に指導と協力をいただきます。また、地域の山や森や川などの自然の状況、天候等の変化に関しては、地域の方々から日常的にアドバイスを受けており、様々な分野での専門家の指導・協力・連携を得ながら、活動の充実とともに安全の質の向上を目指しております。

### ⑦ スタッフミーティング

スタッフ・指導者間のミーティングを事前・活動中に行い、子どもたちの心身の安全を確認します。また、ミーティングの場で共通理解を深め、ケアが必要な子どもたちのプランを作成し対応していきます。